

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
教育実習 Practical Teaching at Elementary School		児童教育学科 初等教育学専攻	2年次	後期(集中)
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
実習	4	選択	隅野 努・手島 史子・福屋 いずみ	
概要				
<p>子どもの発達や心理、教員の業務や学校組織についての理解を深め、確かな学習指導や生徒指導ができるようになるため、小学校の現場において4週間の実地実習を行う。</p>				
到達目標				
<p>(1) 教師としての責務を自覚するとともに、良識ある社会人としての言動ができる。 (2) 子どもたちに対する愛情と教育に対する情熱をもって、子どもたちに接することができる。 (3) 子どもたちの実態を踏まえ、確かな学力の向上をめざす学習指導案の作成と、授業の基礎技術を駆使した授業を展開することができるようになる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<p>1 子どもの発達や心理について理解し、実際に子どもたちとふれあう。 2 教材研究をし、学習指導案を作成し、教科指導を行い、授業技術を磨く。 3 学級経営、生徒指導について理解し、学級経営力を身に付ける。 4 道徳、特別活動について理解し、授業実践を行う。 5 校務分掌、学校事務、PTA、地域社会等について理解を深める。 6 国民に託された教育者としての自覚をもつ。</p> <p>※実習時期 基本的に、2年次10月に小学校での実習(4週間)を行う。</p> <p>※実習先 基本的に、実習先は自分で出身校に依頼する。</p> <p>※その他 実習先で事前オリエンテーションを受ける必要がある。</p>				
テキストおよび 参 考 文 献	<p>テキスト:「教育実習の研究」山口短期大学、「教育実習Q&A」山口短期大学 参考文献:実習校で渡される各種の資料</p>			
メ ッ セ ー ジ な	<p>小学校の教壇に立って実際に授業をするという得がたい経験のできる科目です。 使命感と緊張感をもって取り組む真剣勝負のキャリア教育そのものです。 小学校教諭二種免許の必修科目です。</p>			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 教師としての責務を自覚するとともに、良識ある社会人としての言動ができる。	教師としての自覚をもった言動ができる。	大きな間違いがなく、基本を踏まえた言動ができる。	さらに自覚が必要だが、最低限の言動ができる。	教師としての適性が見られない。	教育実習校からの評価 (知識・理解)	60%
(2) 子どもたちに対する愛情と教育に対する情熱をもって、子どもたちに接することができる。	子どもたちとの信頼関係を築けている。	大きな間違いがなく、子どもたちと基本的な関係は築けている。	さらに努力は要するが、最低限の関係は築けている。	関係を築けない。	訪問指導・教育実習日誌 (関心・意欲・態度)	20%
(3) 子どもたちの実態を踏まえ、確かな学力の向上をめざす学習指導案の作成と、授業の基礎技術を駆使した授業を展開することができるようになる。	ほぼ完璧に授業ができる。	大きな間違いがなく、基本を踏まえて授業ができる。	さらに努力を要するが、最低限の基本を踏まえて授業ができる。	授業ができない。	訪問指導・査定授業 (思考力・判断力・表現力)	20%